

第4回総務部会 議事録

(1) 日 時：令和7年11月14日（金）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2) 参加者：委員（7名）欠席2名、事務局5名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議事項

(1) 校章の選定について

- ・ 勝山中学校校章デザイン予備選考結果
- ・ 二次選考について
- ・ 児童、生徒の投票について
- ・ 最終審査

(2) 校歌の選定方法について

③ その他

《協議事項》

事務局 ・今日は清川部会長が見えていないが、実は清川先生は福井大学の教職大学院の仕事をされている。この秋から学校の公務が大変忙しくなってきたということで、事務局の方にそういうことで迷惑をかけるわけにはいかないということで、この職を辞したいという申し出があった。年度途中のことでもあるし、清川先生にはこの2年半の間、委員長をずっと務めていただいて、この委員会を引っ張っていただき、いろいろ勉強しながらも進めてこられたので、だいぶ遺留はさせていただいた。しかし、本人の気持ちとしては、中途半端に続けて迷惑をかけたくないというか、ただ司会するだけではなくて、自分としてもしっかりコミットしたいというつもりでやってきたので、そこも十分にできないというのは自分としては大変不本意で申し訳ないという、強い思いを言われた。我々としては気持ちを受け止めて、辞めていただくのもやむを得ないという判断をさせていただいた。途中のことでびっくりされることと思うが、そういう経緯である。そうすると、実は清川先生には全体の準備委員会の委員長という役のほか、この総務部会の部会長、もう一つは学校運営部会の部会長も務めていただいていた。そのポストが欠員になるということで、事務局としては、後半年、どなたかそれぞれ代理をお願いしてというようなことも始めは考えたが、いろいろとこれからも懸案事項というか皆さんに協議させていただくことはあるので、ここで規約に基づいて新しい委員長とか部会長を選出して、残りの年度後半をお願いしたいと思っているところである。実は一昨日、学校運営部会を開催して、そこでも委員の皆さんに同じ説明をさせていただいて、それはやむを得ないだろうということで、後ほど説明するが、条例上は部会員の互選で決めるという形になっているので、学校運営部会の方では、今日お越したが、勝山高校の青木校長先生に学校運営部会の部会長を引き受けていただくことになった。中高一貫の推進協議会という別の組織があるが、その会長をされているということで、お願いをさせていただき、了承いただいた。この経緯とそういった進め方をさせていただきたいことだが、皆さんの了解をいただかなくてはいけないと思っている。その方向でということであれば、今の総務部会のメンバーの中から新しい部会長を

	<p>どなたかお願いできないかと考えている。その点冒頭に、諮らせていただいて、そういう方向ということであれば、事務局の方でもう少し説明を加えさせていただき、新しい部会長の選出という形に進めていきたいと思っているので、どうぞよろしくお願いしたい。当然のことだが、この件について、何か質問とか意見があったら、お願いしたいかと思う。いかがか。よろしいか。では、まず新しい部会長の選出ということで、審議をお願いしたいかと思う。</p>
事務局	<p>・ただいま説明させていただいた通りだが、総務部会の部会長が欠員となった。勝山市立中学校再編準備委員会条例第五条には各専門部会に部会長を置き部会員の互選により定めるとある。また第三条には欠員のため新たに委嘱された委員の任期は前任者の残任期間とすると定められている。ということでは、いかがするとよろしいか。</p>
委員 1	<p>・事務局の方で何か案があればお願いしたい。</p>
事務局	<p>・事務局としては木下克則様にお願いできないかと考えているがいかがか。 (拍手)</p>
事務局	<p>・ただいまの拍手で意義なしということで木下様にお願いしたいと思う。よろしくお願いしたい。それでは部会長席に移動をお願いする。ただいまから第4回の総務部会を開催する。それでは部会長に挨拶と今後の進行をお願いしたいと思う。</p>
部会長	<p>・皆さんこんばんは。前回の総務部会の時からまだ舌の根も乾かないうちに、まさかこの席に座ることになるとは思っていなかったが、説明があったように、清川先生におかれては本当にここまで長い期間引っ張ってきていただいて、先生としても苦渋の思いと残念な思いでいっぱいだろうと思う。そういうことで、これまで先生の方でいろいろ続けていただいたこれまでのことをしっかりと引き継いだ形で、可能な範囲内で一生懸命頑張らせていただきたいと思う。ただ、先生のように学校教育とか、そういったものに対しての博識はあまり持ち合わせていないので、助言とかそういったところはなかなか難しいところがあるので、その辺はぜひ皆様方の知恵、協力をいただきながら進めていきたいと思うので、どうぞよろしくお願いしたい。それではレジメの方に沿って議事を進めさせていただきたいと思う。まず校章デザインの予備選考結果についての説明を事務局の方よりお願いしたい。</p>
	<p>(校章の選定について)</p>
事務局	<p>・それでは予備選考について説明をする。今日進める進め方として、基本的には前回予備選考で選んでいただいたものからさらに絞り込んでいくという作業になるが、その手順についても、一つ一つ協議をしながら進めていただけるとありがたいと思うので、どうぞよろしくお願いしたい。まず予備選考の結果だが、既に事前に皆様方の方にお送りしてあるが、今日は資料1という形で冊子にしたものを配布させていただいている。前回の協議に基づく事務局では、10点程度を選考するという事になっていたもので、10点程度で切ると、この表の中の5票が入ったところで、12作品ということになるので、この12作品を対象作品としてはいかがかと考えている。ただこの選定に当たっては、校名を一昨年度選定しているが、校名を選定した折に、今勝山中学校となったが、次点として桜中学校とか勝山未来中学校などの名前があった。審議の際に、桜とか未来とかあるいは恐竜のようなものは校章や校</p>

	<p>歌、例えばボタンなど、そういったところへ反映させていただきたいと思っていると、こういった意見も総合教育会議の中で出ていた。そんな意見も踏まえて、この 12 点でよろしいかということをもつて協議いただきたい。12 作品以外に、こういったものを入れた方がいいのではないかとすることがあれば、その意見を踏まえた協議の後に選考に入っていきたいと考えている。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・説明があったように、予備審査ということで、15 名の選考委員の方々に手元の資料にあるような校章デザインをもとに選考いただいた結果、手元にあるような審査結果になったということである。この資料については、先般皆様のほうにメールで送っているの、少し目を通していただいているかと思うが、今説明があったのはこの資料 1 にある得票数の 5 票以上のところ、3 ページ目のところまでが 12 個という形になっている。そこで最終的に今日の会議の目標というのはレジメにもあるように、いずれ児童生徒への投票に向けての絞り込みをした形までを進めていきたいということになっている。まずこの 12 個の校章をベースにして、協議を進めていっていいか。それとも票数にして 4 票のところもなかなか捨てがたいとか、それとも 5 票のところではなくて、例えば 6 票のレベルのところを選定してもいいのではないかと。その辺の枠組みをまず確認させていただきたい。皆さんもう一度、手元の資料にもう一度目を通していただいて、自分の選ばれた校章もいくつか選定されていると思うが、そういったものにはこだわらずに、ここにある上位 12 個の校章をベースに進めていいかどうか、意見をいただきたい。人数の方も多くないのでぜひ一人ずつ意見を伺えればと思っているので、まず最初に誰かお願いしたい。
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・私は 10 点選んだところ、皆さんの意見と 7 つ相違があった。5 点までの中でかなり縛られてきているので、その中から、できれば個人的に三つずつ選んでから、やった方がいい。0 点とかもいろいろ見たが、大体皆さんの意見は総意しているのではないかなと思っている。それで三つを選んでからまた進めていった方がいいのではないと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・三つというか、まず土俵に乗せるのはこの 12 個。
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは 12 個乗せてという考えでよろしいか。事務局の方から提案があって意見をいただいたが、これをベースにしていかがか。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・私も事務局案の 12 点で大体いいのではないかなと思った。事前にお送りいただいた資料を見てもそう思う。その先どう決めていったらいいのかとは思いますが、12 点はこの段階ではいいのではないかなという気はする。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・4 票以下のところでとりこぼしみたいなのところはないか。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・特にはない。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・私も自分が選んだ 10 点がどれだったかなと思うくらいなので事務局提案の 12 点は問題がないのではないかなと思う。たまたま 3 年生に担任がシールを貼らせてやってみた。その時に多かったいくつかの中に入っていたので、子どもらのセンスとか感覚にもマッチしているのかなと思う。この 12 個でいいのではないかなと思う。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・私も事務局案でいい。私が選んだのは半分ぐらいしかないの、センスがなかった。

委員 7	・ とりあえず事務局で選んでいただいた 5 票以上の 12 個でいいと思う。繰り返しているとなかなか決まらなくなる。はっきり 5 票以上の 12 個というところまでを基準にする。
委員 8	・ 賛成だ。多分、中学生か高校生もアイデアとして参加されている。その 12 作品の中に生徒の作品と思われる作品も入っているので、そういうものも厳選してくれるといいなと個人的には思っている。これはお願いというか、検討してほしいと思うが、その生徒にもしできれば何票入ったとか、そういうフィードバック。多分ここから漏れてくる子ども達が多いとは思いますが、票入っていたよとか、何票とかは言わなくても、そういうのが一つの励みになって、今回駄目だったけど他にある時にはもう一度やってみようかなと。こういうことはうちの学生でもやっているが、駄目でも次といってほしいし、これが一つの教育かなと思っているで、ぜひフィードバックを先生方にしていただければと思った。
部会長 事務局	・ 校名のときもそうだったのか。 ・ そのフィードバックに関して、校名は 800 以上の票があって、上位にどういうものが入ったかということはある程度示して、その中から投票で 3 点に絞ったということなので、候補に入っている作品は自分たちが書いたものだということは書いた本人は理解できたのではないかと思う。
部会長	・ 今の提案のとおり、その辺のところを検討いただいて、もし機会があれば、生徒の方にフィードバックをしていただければと思う。今回の振り返りで、校章デザインの選考に当たっては、我々総務部会員 9 名のほかに勝山高校の美術担当の先生、中部中学校の美術担当の先生、それと勝山高校の生徒会の役員の方 1 名、南部中、中部中、北部中の生徒会の方から 1 名ずつ役員の方が入っていただいた計 15 名で選定いただいたという経緯であるので補足だけさせていただく。それでは皆さんの意見が大体まとまっているので、事務局案にあるこの 12 個の作品をベースにして、この後の選考の方に進めたいと思う。次の二次選考の方法についての説明を事務局よりお願いしたい。
事務局	・ この 12 作品を二次選考の候補として決めていただいたが、先ほど発言があったが、レジメの通り、今回は 10 程度の候補作品からさらに 3～5 点程度に絞り込むと、このやり方としては 9 名の総務部会員が各自 3 点ずつを選定し、集計結果をもとに 3～5 点と決めていただいたが、実は事務局の方で考えて、一つは委員が抜けられたということ、それから作品が 10 点以上の 12 点になるということを見ると、仮に 3 点を皆様方に入れていただくとすると、8 名の審査員が 3 点ずつで総数で 24 票になる。その 24 票を 12 の作品に振り分けると、2 票が 1 票しか入らないという作品が多く出てくることが予想されると心配している。そこで 2 次選考の方法として作品を選定いただく数の話で修正案を出させていただきたい。事務局案としては、原案を修正して、7 作品を選んでいただく。計算すると 1 作品あたり 5 票ぐらいになるので、そうすると差がつくのではないかと考えてみた。12 から 7 選ぶことは難しいという意見もあるかと思うので、皆様方の気持ちを十分協議させていただきたい。ある程度差がつく結果にならないと困らないかなということに危惧しているだけなので、一度協議していただければと思う。

部会長	・今説明があったように、基本的にまず 12 の候補の作品の中から選定するにあたって、絞り込みの作品数の数というところでの話になっているかと思う。当初は 3～5 点ということ言われていたが、確かに選定する数が少なければ少ないほど、どこかに集中するかばらけてしまうかというどちらかの傾向は多分にあるのかと思うし、3～5 点だと、どうしても得票数に引っ張られるきらいもあるかと思う。3～5 点となっていると上位 7 票以上が 5 作品になってしまうので、どうしてもこれに引っ張られる可能性もないとも言えないかなという気もする。今事務局の方からの新しい案として 12 点の中から何点ぐらいで票を入れていただいた方がいいのかというところで、私の補足させていただいた説明内容を踏まえてどのようにさせていただくとよろしいか。これについては難しいところではあるがどうか。
委員 9	・7 点の方が選びやすいし、12 点で消去法でやっていけばいい。3 つというと 12 のうちどれにしようかと思う。
部会長	・確かに懸念したのは、12 の中から 3 つとなると、上位の得票数に意識がいつてしまっで選んでしまう可能性がないとは言えない。12 の中から 7 つというと、5 個を消すという考え方で見ていくと、非常に選びやすいのかなという感じもする。
委員 10	・確認したいのだが、7 つを選ぶということなのか。7 つまで選ぶのか。
事務局	・事務局案としては、7 つの人と 5 つの人がおられると、公平性が保たれないので、もし 7 つと決めていただのであれば、全員の方に 7 つを決めていただきたいと思う。
委員 11	・残す校章案を増やすということか。
事務局	・一番の意図は 2 票、2 票、2 票・・・1 票、3 票という結果になった時に、うまく 5 票のものとか、7 票のものとか差がつけばいいが。
委員 12	・自分の持ち点を増やせば増やすほど結構上の差がなくなる。下にどんどん点数が入っていくことはあるが、上にも結構似通ったりするので、結構上が似て下にだんだん票が入っていく格好になって、一人一人極端な話、10 票ぐらいにすると、上がどんどん決まっていきやすい。おそらくそうなると思う。学生たちに票が入ったと言いたいので、持ち票を増やすが、優れてると思っている案が結構似ているので、どんどん入っていく。だから上は似ていくような感じがすると思った。こればかりは 1 回やってみないと分からないので、やってみて 2 回目、3 回目、4 回目の投票でどんどん絞っていけばいいだけの話かなと思う。今回は 1 回目の投票で 2 票以下は切りましょう、どんどん切って、7 点なのか 5 点なのか 3 点なのか、ボーダーラインまで切ろうという感じでいいのではないかと思う。
事務局	・事務局の方も今 7 点でというのは、あくまでも結果が混乱しないといいという意図なので、それに執着しているものではない。今の意見のような考え方もよろしいかと思う。ここで協議いただければと思う。
部会長	・基本的に 7 点と言った以上は一応全員が 7 つ選んでいただく。選ぶ審査員によって 2 つだけ選んでみたりとか、5 つだけ選んだりとかすると少しおかしい結果が出てくる可能性があるのでも 7 つだけ。7 つにするのか 5 つでいいのかという話もあるかと思うが、まず第 1 段階として 7 つでよろしいか。

- 委員 13 ・ それでいい。
- 部会長 ・ 7つで1回選定してみて、その結果を踏まえて、次のステップをどういうふうに決めるかというのは、そこでもう一度皆さんの意見を聞いて進めていくという意見だった。
- 委員 14 ・ 一ついいか。校章を選んでいく中で、学校の玄関に例えば勝山校章、勝山中学校とか、どうなるのか分からないが、そこに校章が入ることになる。今12点から選ぶとなった時にカラーのものがある。玄関先の校章になった時にカラーのものをつけるのかつけないのか。今はカラーだから見栄えはいいが、これに票が入ったとなった時に、実は校章関係は色あいなんだとなった時にぐっとイメージが変わってくると思う。その辺も考えながら7点を選ぶというのが重要なのではないかと思う。
- 事務局 ・ 指摘の通りで、カラーのまま、例えば校旗だと刺繍をすると色が入った状態で作られることになるかと思うし、印刷物とか、マークみたいになると金色っぽいようなもので出てくる可能性もあるかと思う。場合によっては真っ黒で何かの印刷物にのるとか、金色で賞状にのるとかということはある程度想定していただいて、その時に困らないようなものになるといい。そういう選定をしていただけるといい。ちなみに学校につけるものについては、いろいろあって、警察のマークみたいに金色一色になっているものもあるし、色のついたものもあるし、それは様々かと思う。
- 委員 15 ・ 今子ども達は制服にはつけないのか。
- 事務局 ・ ブレザーになったので、詰襟と違うので、エンブレムだけになる。
- 委員 16 ・ 例えばブレザーのワッペンみたいなものであれば、校章にしてもいいかと思うが、ワッペンと校章は別だと考えた時に切れていくのかなと感じる。ページをめくってカラーのもの、丸い赤は思いがあつたとしても校章になった時に色がわからない。例えば小さいマークみたいなものや印刷でもいいが、ここまで細かい線は出せないだろうとか印刷した時に何か太い線になってしまうイメージがあるので、その辺も踏まえて選んでもらえればと思う。
- 事務局 ・ 事務局で今の提案というか意見をしっかり詰めているわけではない。個人的な意見かもしれないが、一応応募いただいたのは白黒のものとかカラーのものとかいろいろあるので、どれかに決まった時には、やはりその応募いただいたそのままを使うのが基本かなと思っていて、だからどこに使うかによって、例えば賞状に使う時は一色で金色にしようとか、校舎に貼るような大きいマークにする時はモノクロがいいのかとか、いろいろイメージとしてはあるが、基本的には例えばカラーで決まった校章であれば、もう基本的には全部カラーで使うということでもいいのではないかと考えていて、決まった後で、どういうところに使っていくかというのは、そこで、例えば応募された作られた方とも相談して、これ少しモノトーンにしたらどういうふうになりますか、していただけますかとお願いをして、それをまた使うというような、あまり我々の方で細工はしない方がいいと思うし、ここを直してくださいというのも失礼にあたる。その辺はよく話し合いをして合意しているところが大事だと思うので、色の話は基本的にはあまり考えずにそのままどれがいいかでいいと思う。
- 部会長 ・ 中学校では色とかどう思われるか。実際の校章は既にあるわけだが。

委員 17	・色は多分ついている。色がついているものがステージにはある。でも賞状には白黒になっていたり、一文字幕には金色で刺繍がしてあったり様々なので、カラーは残せると思う。ただ、あまり細かいところなど潰れて残念かなと思う。シンプルなものできればいいと思うが、なかなか難しくなる。
部会長	・高校の方はどうか。
委員 18	・制服はここにワッペンがついているので、校章は単色でホームページとか体育館のステージのところとかにあるが、生徒たちはブレザーに大きなマークがあってそれは校章ではない。カラーでエンブレムになる。そうすると校章はどこに使っているかという、ホームページとか、賞状とかになるという気がする。ステージのところについているぐらいで、ブレザーにもついていない。シンプルなのがいいという気はするが。
委員 19	・緞帳というか、舞台にはないのか。
委員 20	・体育館の緞帳の上にはあるが、黄色い刺繍がある。あとは校旗も黄色か何かだったようだが思い出せない。
部会長	・エンブレムはどんな色だったか。
事務局	・後ほど持ってくるが黒字に銀色みたいな色で、基本単色の恐竜が書いてあるような恐竜が王冠をかぶっているような。
部会長	・小学校はいかがか。
委員 21	・私の知っている限り小学校は、単色のモノトーンのものばかりだった。今南部中の話を聞くと、色があるなら、そのまま使えばいいのかな。今考えてみると校章はそんなにどこに使うのだろうと思った。体操服は決まっていたはずだ。
事務局	・体操部は全部ついている。
委員 22	・体操服は何かマークが入ると決まっていたから、校章はどこだろうと思うと、緞帳だったり、賞状だったりと思うといいのではないかな。色があっても構わない。もしかしてずっと外に、玄関のところにあったとしても、長年の間で色あせたとしても、それはそれで年月が経ったという形でいい。 (持ってきたエンブレムの色を見る)
事務局	・中部中の生徒がデザインされたものである。
部会長	・あまりエンブレムを意識する必要ないのか。
事務局	・そう思う。
部会長	・どうだろうか。いろいろ意見をいただくとカラーについてはそのままの形で進めてはどうかという意見。
委員 23	・これを印刷するとなった時にカラーだとお金がかかる。そういうのも踏まえた中でいやお金がかかってもいい、全然気にしませんというなら、別にカラーを選んでもらってもいい。モノクロで安定感があるというものを選べるならそちらの方でもいい。後々のことも考えつつだと思う。
部会長	・多分、大量印刷になると白黒になるのだろう。ものによっては、ピンバッジではめたいというものもある。それでは12作品から7点選ぶということで色付きのものについてはその色を大事にする。確かに作成者によっては、その色というものに対してこだわりを持ってもらえるかと思うので、作成者の意図を反映するということ尊重して、基本的にはここにあるこの色のも

	のをベースにして選んでいただく。その形で進めさせていただいてよろしいか。
事務局	・今ほど決めていただいた通り、各委員においては、この12の作品の中から7点を選考いただく。その結果を見た上でどのようにするかというのは、再度協議いただくという前提でよろしくをお願いしたい。なお、今日欠席の委員については、こうなった場合にどう思われるかということで、事前に意見もいただいている。ここで了解いただければ、その意見も反映して、集計に含めさせていただきたいと思うがよろしいか。
部会長	・7つを選んでもらっているのか。
事務局	・7つ選んでいただいている。もし5つになったら上から5番目というふうに順番に選んでいただいている。
部会長	・よろしいか。そういう形で候補を選んでいるということなので、皆さんが選んでいただいたものに含めて選定するという形で進めさせていただきたい。
事務局	・それではただいまから二次選考に入らせていただきたい。今から委員の皆様には選考用紙を配らせていただくので、そちらの方に12点書いたものから、番号を書いていただければと思う。じっくり考えていただきたいと思うので、一旦この会議を休憩とさせていただいて、早く終わられた方は少し休んでいただくということで、しばらくの時間を取らせていただきたいと思う。大体目処としては、8時過ぎぐらいかなと思うが、もう少しかかるようであれば、さらに伸ばすということでじっくり考えていただきたい。
委員 24	・質問だが、校章になった時にこれの枠はどうなるのか。
委員 25	・例えばこの柄で校章が作れるものがある一方で枠が曖昧なものもある。これに枠があつての校章になるのか、それこそシールド型みたいな枠になるのか、枠がないものに対してはどういうふうにしていくのか、刺繍だったらこれでいけると思うが、玄関に掲げる校章となった時にこの絵文字のものをどのようにしていくのか。こういうものに関しては外枠みたいなものは用意しているというのであれば。
事務局	・どういう場面で使うかによるかと思う。印刷物に使うとなればそのまま印刷するだけなので、特に枠とかはないが、何か型抜きのようなものという場合には、西本先生に教えていただけると思うが、おそらくその輪郭に近いもので切り取っていくという形になるのではないか。
委員 26	・昔、プラバンを温めてバッジみたいなものを作らなかったか。プラスチックの板をトースターで温めると小さくなる。板の透明のところに絵が描いてある。ああいう型枠みたいなものに絵が描いてあるようなイメージになると思う。言い換えると、枠が出てしまうような状況もありえる。刺繍だったら枠がなしでも全然問題なくいくし、かなり限られた条件でそういう場合が出てくるということでもいいと思う。
事務局	・おそらく言われるのは丸く囲むのか、四角く囲むのか。そういう意味合いの質問かと思う。基本的にはそれを六角で囲むとか、丸で囲むとか四角で囲むという意味ではなくて、比較的輪郭に近いところで切り抜いていくという形になると考えていただければいいと思う。
事務局	・それでは質問がないということであれば、お手元の方に配付させていただい

た用紙の方に記入いただこうと思う。そこに審査員名を書かせていただけたが、名前を書くことはよろしいか。それでは作品の7つの枠を作っているが、特に順番にという意図はないので、7つ選んでいただければと思う。終わられたら事務局の方へ提出いただいて、しばらく休憩にしていいただければと思う。よろしく願いたい。

(選定作業)

- 事務局 ・ それでは結果がまとまったのでお知らせさせていただく。皆様の方にはこの得票順に並んだ資料があるので、そこにメモをお願いする。
- 部会長 ・ 上位7つだけで決めるということではよろしいか。この作品をまず第二次審査で選定された候補ということではよろしいか。この7つを生徒にあててしまうのか、それともさらにここから3つ、5つに絞り込んで生徒の方に渡す形にするか、これについてはいかがか。この後でもう一度、今と同じように7つの中から5つぐらいか。
- 事務局 ・ 以前審議いただいたのは、ここで3点から5点というはばはあるが、程度にということで、一応決めていただいている。ただ、子ども達にこの後投票してもらったことを考えた時に、あまり選択肢が少ないのはどうかなという思いもある。そういうことで3から5というように、あと得票数でどこで切れるかという観点もあるのでそうさせていただいた。やはり5点ぐらいはいいのではないかと、あるいは7点ぐらいに広げて、子どもの数も今回は人数は多いので、4年生以上に与えるのか、その辺りは改めて決めていただけるといいかと思う。
- 部会長 ・ 学校側としてはどうか。子ども達に選んでもらうという条件の中で、7点までは生徒たちに渡して選んでもらうか、それとも7点は多いなということであればこの場で5点以内に絞り込んでとなる。ただ5点にするのにもう一度やり直すのか。
- 委員 27 ・ 個人的な思いとしては7点でいいのではないかと思う。せっかく作っていただいた方の励みにもなるし、最終結果のところでは出るの、最初までいけたんだという話もある。多分この結果を見ると偏っていくのではないかと思う。この結果をあげていただいてもいいかと思う。
- 委員 28 ・ 7つのがいいかな。私の思いでいくと残してほしいものもあるので、7つでいい。
- 部会長 ・ この2つをそのまま生徒たちにも委ねるか。
- 部会長 ・ 5点か7点か
- 委員 29 ・ 先生方から見て、子ども達が5つから選ぶほうが楽なのか、7点あるところから1つ選べと言われるほうが楽なのかどう思われるか。
- 委員 30 ・ 1つを選ぶなら5点が楽かな。
- 事務局 ・ エンブレムでも恐竜のものはあるから、校章は外した方がいいという意見もあったと思うし、勝山と言うと恐竜は外せないという意見もあって、そこはなかなか意見多数だ。
- 委員 31 ・ 5点ぐらいがいいのかと思う。
- 委員 32 ・ この7つの中から個人として絶対に選んでほしくないものとかあれば。みんな頑張って作っている。
- 委員 33 ・ 元々は5点でと言っている。

部会長	・子ども達は5点、7点の差はないかもしれない。12点というのは大変だが。選択肢を多く与えるか、それとももう少し絞りやすいような形にするか。絞り込みをここでかけてしまうか、生徒たちに委ねるか。
委員 34	・広げようという意見がこの会場の中で全員一致ならば広げてもいいと思う。ただいろいろな意見もあって、議論されている中でどういうふうに判断するかというと、元々あったルールに準ずるのが一番公平かと思う。そうでないとどっちがどっちかでもめる。やり方としては3から5点の中で最大5に収まったから、それで決めるということでもいいのではないかな。
部会長	・実際に皆さんの票の結果として出てきている数字なので、よろしいか。客観的な感覚で言い出すと、いくらでも数は上がってきってしまうので、定量的にある程度決めてしまわないと難しい。上位5点を、生徒たちの選定していただくということで、決めさせていただきたいと思う。よろしいか。それでは、上位5点を生徒たちに選考いただくという形で、総務部会としてはさせていただきます。
事務局	・確認をさせていただく。子ども達に投票していただく作品は、5点ということで投票していただくこうと考える。投票については、来週あたりから学校の状況とかこちらの準備もあるので、投票の依頼を始めたいと思う。一定の期間を設けて投票してもらおうと思うが、投票の方法は、事務局案としては、今日評価いただいた投票数とか、予備選考の時の投票数とかは示さずに、意図もあるので、説明と原画を5つ並べて各自一点選んでくださいということに依頼をしようと思う。それでよろしいか。順番は掲載順はエントリー順にさせていただきますと思う。その結果をもとにこの規定どおり投票結果を参考に総務部会において最終候補を選定するという作業が次の作業としてある。第5回の総務部会を12月10日、あるいは11日あたりでお願いできないかと考えているが、皆様方のご都合はいかがか。
部会長	・次の第5回目の総務部会だが、事務局の方からは12月の10日、11日が候補としてあがっている。都合の悪い日があったらどうぞ。
委員 35	・両方とも出られない。
部会長	・次回は結果報告の形になるのか。
事務局	・子ども達の投票の結果がまとまるので、それをご覧いただいて、この会としては、投票通りこれが一番多いのでこれにしようとするか、いや並んでいるのでこちら側にしておこうとかを決めていただく。
部会長	・出てきた中からまた3つを選ぶのか。
事務局	・基本的には最終候補を決めるということだが、その後準備委員会でも、あるいは教育委員会でも決めていただくので、総務部会として、一番はこれだが、次点としてこの二つぐらいあるというぐらいは次の回に示さないと結果だけ頷いてくださいという話になってしまう。少し幅を残して、総務部会の総意としてはこれがいいというところはある程度決めていただくことになろうかと思う。
部会長	・それはあくまでも結果的な数字だけを主体的に考えるべきなのか。数値的に1票でも多ければ1位。
事務局	・ここに書いてあるように、投票結果を参考にとということなので、投票でこれが一番多いのでそれにしましょうとなるかどうかは、皆様方の協議に諮りた

	いと考えている。
部会長	・是非ご参加いただけるといい。
事務局	・ただ、その日ギリギリに結果がまとまってくるわけではないので、ある程度欠席の方には事前に示させていただいて、意向だけは伺っておくことはできるかと思う。
委員 36	・どちらも悪いが、10 日は何とかなる。
委員 37	・大丈夫だ。
委員 38	・決められた日を言ってもらえればいい。
委員 39	・大丈夫だ。
委員 40	・11 日は駄目だ。
部会長	・では 10 日に第 5 回総務部会を開催することをお願いしたい。校章の方についてはそのような形でありがとうございました。続いて校歌の選定方法、前回の会議の時にも話が出たが、この校歌についての協議内容に基づいて進めたい。
事務局	・相談だが、予備選考で何票入ったかというのはこの資料に入っている。今二次選考をしていただいて、何票ずつという数字が決まっている。この総務部会の記録はホームページにアップしている関係で、合わせて資料もアップする。その通りでやると、予備選考の票数と今日の票数も合わせて、記録に載せるという格好にはなるが、今から子ども達が投票ということを考えると、その数字が出ない方がいいのかと思ったり、気にしないでいいのではないかということもあるかもしれないし、どうするかという話になる。
部会長	・これを全部オープンにした方がいいという話は生徒たちにとということだった。だから、例えばホームページとかでのオープン、公のところでの開示については出さなくてもいい。
委員 41	・言いたかったのはその応募してくれた生徒に対して、票が入っていたよと伝える。今回の話だと基本的には別にオープンがいいと思うが、やはり影響されると思う。段階として一応こういう資料は出てきていて最終候補は 5 点に決まった。今回審査中ですので、票は差し控えて終わった後に公表するとかでいいのではないか。プロポーザルとかは一次審査とか、二次審査とかある場合にはそういう手続きをとっている。
部会長	・生徒たちに対しては、終わった後に結果としてこうだったということだけは、もしタイミングがよければ伝えていただく。実際ホームページでの情報開示にあたってはやはり票数は出さない方がいいかなと思う。そういう形で進めてよろしいか。
事務局	・子ども達に投票してもらった時も 5 つから選んでねだけでよろしいか。
部会長	・最後、これに決まったという時に後でもし見たいという希望があれば、その数字はやぶさかではないという形でする。
	(校歌について)
事務局	・校章の方は以上とさせていただいて、校歌のことについて簡単に説明をさせていただく。校章の方がいよいよ最終選考になってくるので、校歌の方についても合わせて作業を進めたいと考えている。校歌についてはこれまでの協議において、アンケート結果をもとに次の二点の方針を決定している。一点目は歌詞・曲を一括して専門家に依頼するという、それから事務局にお

	<p>いて地域の作詞家、作曲家を人選することの二点である。アンケートが既に公開されているので、アンケートの中でどういった人に詩を作ってほしいか、曲を作ってほしいかと聞いていて、地元の方というと、平泉寺の大庭 桂さんであるとか、地元ゆかりの俵 万智さんとか、バレーボールの三屋裕子さんの名前のほか、いろいろな方の名前が上がっている。音楽の先生の名前がフルネームで上がっていたりもして、こういったアンケートの結果も尊重しながら、事務局の方で人選をしたいと思っている。皆様方からこの方がいいのではないかとという方がおられれば、候補にさせていただきたいと考えている。いかがか。</p>
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これはいつ頃までに候補者を出してもらうのか。 ・逆算をした場合、他の市町の状況を見ると、やはり製作に1年かかることになる。そうすると、遅くとも来年の12月ぐらいには作り終えて、令和8年度の3学期ぐらいをかけて、歌う練習などして、開校を迎えるという運びになるかと思う。そうやって逆算してくると、一年前ということになるので、今年の終わりぐらいには少しその目途がついているという計算になるかと思う。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは作詞家か。 ・手順として、作詞を先行した方がいいかなと思う。同時にはなかなか難しいと思うので、作詞家の方が決まればその作詞家の方との相性がいいとか、そのイメージに近い方の推薦をいただくとかで局が決まってくるかと思う。曲については極力地元の方かと思うが、必ずしもたくさんおられるわけではないと思うので、一定幅を広げて相談をさせていただきたいと考えている。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞家というのも、総務部会の方で候補がいればという話だが、今この場で聞いてもこれは難しいと思う。せめて次の第5回目のときまでに、どなたか候補者があれば、その時に持ってきていただくことでもよろしいか。 ・基本的には事務局の方で、人選をさせてほしいという了承を今日いただければ、もう作業には入りたい。この人という方があればこうアタックしたいと思うので、12月の中旬まで動けないというのは辛いかなと思う。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・心当たりの方はおられるか。先生方はどうか。立候補でもいい。逆に事務局の方に依頼させてもらってよろしいか。では、事務局の方で人選をお願いしたい。 ・事務局の方でいろいろ協議を進めて、該当の方と協議を進めていく。その都度、結果報告については報告させていただきたいと考えている。校歌については以上になる。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌については提案があったように、事務局の方でまず作詞家の方を選任いただいて、その上でまた作曲家の方の人選という形で、ある程度ここについては事務局に一任という形で進めさせていただくということで、了承していただけるか。ありがとうございます。それでは今日の議題になる校章と校歌については一応以上でよろしいか。今日審議させていただきたい内容についてはこれで終了とする。ありがとうございました。 ・本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。本日いただいた意見を踏まえて、今後の作業を進めさせていただく。なお今年最後の再編準備委員会を12月の第3週あたりに開催して、再編準備委員会として校章デザインの最終候補を決定したいと考えている。改めてご案内をさせていただくので、その時はどうかよろしくをお願いしたい。それでは以上で総務部会を終了する。どうもありがとうございました。